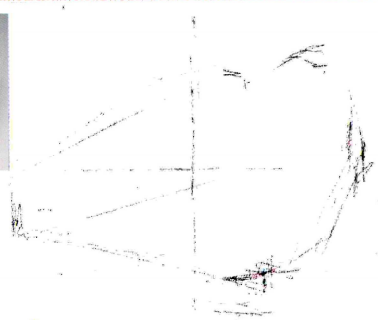
美術　休業中課題

画用紙に鉛筆で身近な物をデッサンしよう。　【制作時間　3~5時間】

筆記用具や食事道具、ベランダや庭の草花、家の周りの風景など普段気がつかない物でも実は何でも絵になります。
ぜひ時間に余裕があるこの機会をチャンスととらえ、じっくり身近な物を観察して鉛筆で絵を描いてみよう。

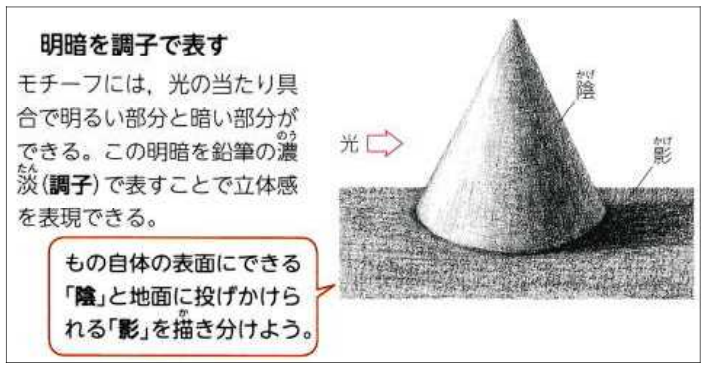
描く手順は自由です。思いのままに描いてよいのですが、下の『愛着のあるくつを描く』のように全体の雰囲気をとらえてから、細かいところを描いた方が正確な形を描くことができます。

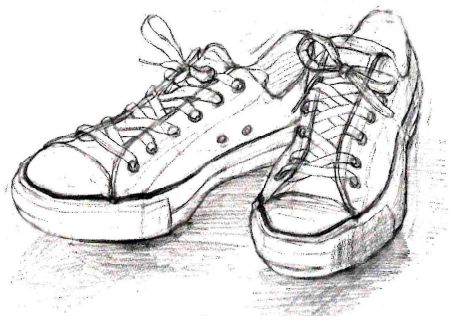
表現しよう　愛着のあるくつを描く



① 自分の表したい構図が決まったら、大まかに形をとらえる。

② 部分と全体を見ながら形を決めていく。





③ 全体から徐々に部分を描いていく。同時に少しずつ調子をつけて明暗の差をはっきりさせる。

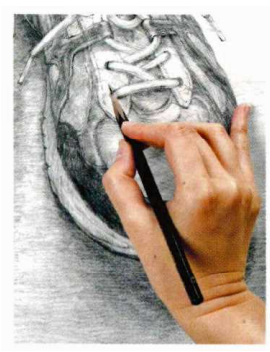
④ 細部を描く。靴の各部の素材の違いなどを注意して質感を表現する。

完成作品〔鉛筆／32.5×41.0㎝〕

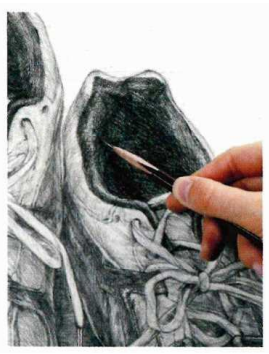
作者の思い：つま先部分のゴムのブツブツした感じや、布のしわなど質感の描き分けに気をつけました。
この靴らしさを出せたと思います。

☆細部の工夫

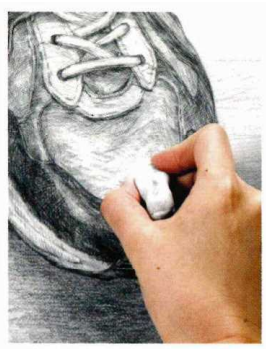
えんぴつの使い方を工夫して質感を表そう。



皮革の部分のつるつるした感じは、細い線を重ねたハッチングで描く。



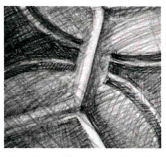
はき口の布の軟らかさを表すために、えんぴつの芯の横でざらざらとしたタッチで描く。



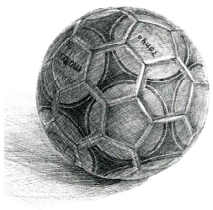
メッシュやくたびれた布の質感を消しゴムを使って白で描くように表す。

タッチを工夫して質感を表そう

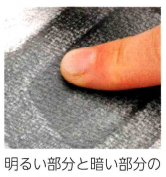
黒１色でも**タッチ**（筆触）を工夫することで，そのものらしい質感を表現することができます。



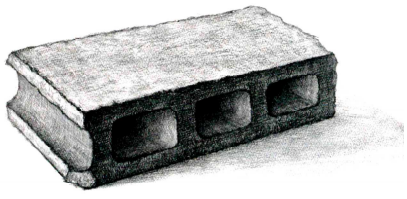
固く細い線による曲線的なクロスハッチングで，ボールの丸くつるつるした感じを表している。



サッカーボール



明るい部分と暗い部分の強い対比が重量感を感じさせる。

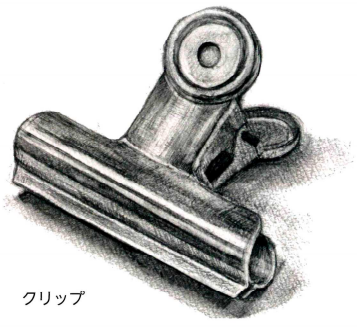


コンクリートブロック

やわらかく筆圧を抑えた線で，毛糸玉のふわふわした感じを表している。

毛糸玉

消しゴムでハイライトをつくり，金属の光沢を表している。



クリップ